

全球地球観測システム (GEOSS) について

GEOSS: Global Earth Observation System of Systems

経緯

持続可能な開発に関する世界首脳会 (WSSD) (2002年9月)
環境保護と経済開発の両立に対する地球観測の重要性を強調

G8エビアンサミット(2003年6月)
10年実施計画の策定、関係会合の開催を合意

地球観測サミット
第1回 2003年7月 アメリカ (渡海文部科学副大臣)
第2回 2004年4月 日本 (小泉内閣総理大臣)
第3回 2005年2月 ベルギー(小島文部科学副大臣)
「全球地球観測システム (GEOSS) 10年実施計画」の策定

G8グレンイーグルスサミット(2005年7月)
10年実施計画の採択を歓迎する旨表明

G8ハイリゲンダムサミット(2007年6月)
GEOSSの発展においてリーダーシップを発揮することを確認

地球観測サミット
第4回 2007年11月 南アフリカ (渡海文部科学大臣)
衛星観測、地上・海洋観測等の国際的な連携の強化を趣旨とするケープタウン宣言を採択

G8北海道洞爺湖サミット(2008年7月)
地球観測データに対する需要の増大に対応するため、GEOSSの枠組みにおいて、観測、予測及びデータ共有を強化する旨表明

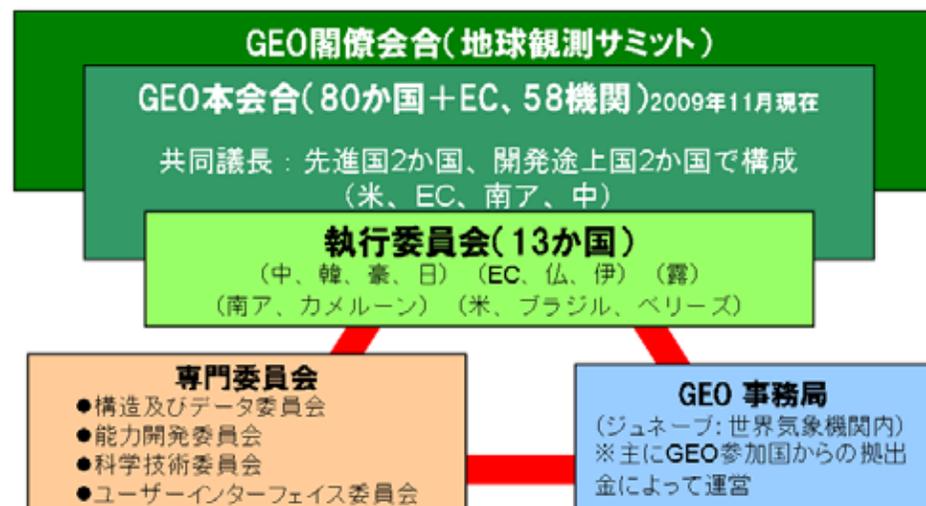
G8ラクイラサミット(2009年7月)
気候変動に起因する自然災害及び極端な気象現象の増大した驚異に対処するため、GEOSS開発のための継続中の作業を支援する旨表明

地球観測サミット 第5回2010年11月5日中国(北京)で開催予定

「GEOSS10年実施計画」の概要

- 国際的な連携によって、衛星、地上、海洋観測等の地球観測や情報システムを統合し、地球全体を対象とした包括的かつ持続的な地球観測を10年間で整備
- 災害、健康、エネルギー、気候、水、気象、生態系、農業、生物多様性の社会利益分野に対して、政策決定に必要な情報を創出することを目指す
- GEOSSを推進する国際的な枠組みとして、**地球観測に関する政府間会合(GEO: Group on Earth Observations)**を設立

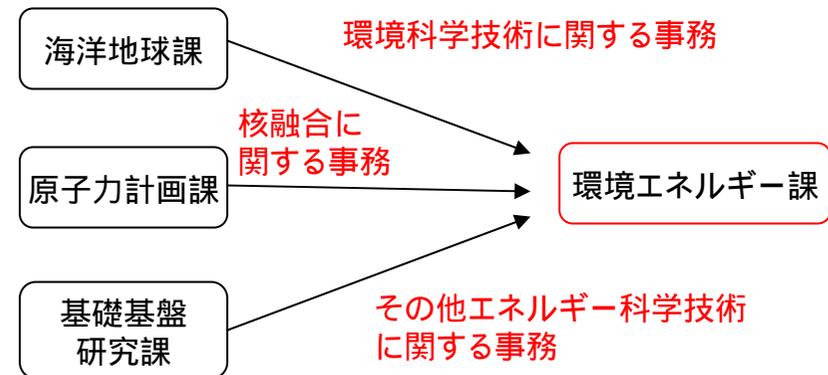
地球観測に関する政府間会合 (GEO)



文部科学省における体制整備について

環境エネルギー課の新設

グリーン・イノベーションの推進に向けて、環境分野及びエネルギー分野の科学技術に関する研究開発の強化を図るため、研究開発局に環境エネルギー課を新設



原子力課の新設

地球温暖化対策やエネルギーセキュリティ確保の観点から、原子力の重要性が高まっている状況を踏まえ、文部科学省における原子力に関する事務を一元的に実施する体制の強化を図るため、研究開発局に原子力課を新設

